

日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER



No.147
2017/4/21

目 次

理事会報告.....	2
第 17 期（2017～18 年度）役員選挙の結果.....	3
日本中東学会第 33 回年次大会プログラム.....	4
第 5 回中東研究世界大会（WOCMES-5）開催のご案内.....	14
編集後記.....	15

理事会報告

【第16期・第17期合同理事会報告】

日時：2017年4月5日（水曜日）18時から19時

場所：東京大学東洋文化研究所第2会議室（302）

出席：飯塚正人（第16期）、江川ひかり（第16期）、大稔哲也、粕谷元、栗田禎子、黒木英充、近藤信彰、桜井啓子、長沢栄治、林佳世子（第16期）、保坂修司、松本弘（第16期）、森本一夫、森山央朗、山岸智子

欠席：赤堀雅幸、末近浩太、東長靖、山口昭彦

〔議題〕

1. 役職・理事業務の引き継ぎ

第16期事務局長より各職掌について業務の報告があり、第17期理事会の職掌分担について参考意見が提示された。

2. その他

特になし。

【第17期理事会報告】

日時：2017年4月5日（水曜日）19時から21時

場所：東京大学東洋文化研究所第2会議室（302）

出席：大稔哲也、粕谷元、栗田禎子、黒木英充、近藤信彰、桜井啓子、長沢栄治、保坂修司、森本一夫、森山央朗、山岸智子

欠席：赤堀雅幸、末近浩太、東長靖、山口昭彦

〔議題〕

1. 会長と事務局長の選任

投票により、黒木英充理事を会長に選出した。

事務局長には、勝沼聡会員を特任理事として選任した。

2. 理事に職掌分担

その他の理事の職掌分担について話し合い、以下の通りに決定した。

AJAMES 編集委員会：近藤信彰理事（編集長）、粕谷元理事（副編集長）

横田貴之評議員を特任理事として副編集長に選任した。

国際交流委員会：東長靖理事（委員長）、栗田禎子理事、末近浩太理事、山岸智子理事

企画担当：桜井啓子理事、森本一夫理事

ニューズレター・書記担当：赤堀雅幸理事

ホームページ担当：保坂修司理事

年次大会担当：山口昭彦理事

渉外担当：大稔哲也理事

財務・会則担当：長沢栄治理事

総務担当：森山央朗理事

(森山央朗 第16期事務局長)

第17期（2017～18年度）役員選挙の結果

評議員選挙については、2017年2月11日に開票の結果、有権者395名のうち、投票者数143名（うち有効票119、無効票22、白票2）、投票率は36.2%でした。学会細則VIII-2により、第17期の評議員は以下の58名で確定しました。

青山弘之、赤堀雅幸、秋葉淳、飯塚正人、池内恵、岩崎えり奈、臼杵陽、江川ひかり、大河原知樹、大稔哲也、岡真理、帯谷知可、粕谷元、加藤博、菊地達也、私市正年、栗田禎子、黒木英充、小杉泰、後藤絵美、小林春夫、小松久男、近藤信彰、酒井啓子、桜井啓子、佐藤健太郎、澤江史子、塩尻和子、清水和裕、末近浩太、杉田英明、鈴木恵美、鷹木恵子、店田廣文、辻上奈美江、東長靖、内藤正典、長岡慎介、長沢栄治、中村覚、西尾哲夫、錦田愛子、羽田正、林佳世子、保坂修司、堀井優、松永泰行、松本弘、三浦徹、三沢伸生、守川知子、森本一夫、森山央朗、柳橋博之、山尾大、山岸智子、山口昭彦、横田貴之（50音順、敬称略）

評議員選挙に続き、新評議員による理事選挙が行われ、2017年3月6日に開票の結果、以下の15名が選出されました。なお、理事選挙にあたり、会則第9条の規定により、飯塚正人評議員、林佳世子評議員は被選挙権を保有しないため、予め理事候補より除外されました。投票者数36名（うち有効票36、無効票0、白票0）、投票率は62.1%でした。

赤堀雅幸、大稔哲也、粕谷元、栗田禎子、黒木英充、近藤信彰、桜井啓子、末近浩太、東長靖、長沢栄治、保坂修司、森本一夫、森山央朗、山岸智子、山口昭彦

(50音順、敬称略)

(堀井優 選挙管理委員長)

日本中東学会第 33 回年次大会プログラム

会場：九州大学 箱崎キャンパス 法文講義棟

※時間・報告順は変更となる場合があります

5月13日(土)

公開シンポジウム

「元寇」とイスラーム：

モンゴル帝国の拡大がもたらした社会変革と中東

2017年度日本中東学会大会の開催地となる九州大学箱崎キャンパスでは、昨年、中央図書館の敷地内から新たな元寇防塁が発見されました。日本に襲来し大きな社会変革をもたらしたモンゴル帝国勢力は、中東においても、社会へのダイナミックな影響をもたらしています。本シンポジウムでは、中東と日本が同時代に体験した社会変動の意味を、ユーラシア大陸規模の歴史の展開のなかで考えてみたいと思います。

13:00-13:15 開会あいさつ、趣旨説明

13:15-15:25 シンポジウム報告

船田 善之（広島大学・モンゴル帝国史）

「モンゴルの征服と統治—遊牧国家から世界帝国への変貌？」

堀本 一繁（福岡市博物館・日本中世史）

「蒙古襲来と異国警固体制」

中町 信孝 (甲南大学・マムルーク朝史)

「アラブが見た「モンゴル襲来」—アイン・ジャールートからISまで」

渡部 良子 (東京大学・イルハン朝史)

「イランにおける「モンゴル襲来」—モンゴルによる統治の受容とイメージの変遷」

15:25-15:45 休憩

15:45-16:45 ディスカッション・質疑応答

16:45-16:55 閉会あいさつ

17:00-18:00 日本中東学会総会 (会員のみ)

18:30-20:30 懇親会 (九大生協・中央食堂)

5月14日(日)

【企画セッション】

企画セッション1 (12:40-14:40)

イスラーム・ジェンダー学の未来:

セクシュアリティにみる国家・宗教・ジェンダー

司会・モデレーター 後藤 絵美 (東京大学)

報告1 保井 啓志 (東京大学・院)

「愛国主義・排外主義と性的少数者: イスラエルを事例に」

報告2 澤口 右樹 (東京大学・院)

「イスラエル国防軍の女性兵士: 宗教と世俗の狭間で」

報告3 鳥山 純子（日本学術振興会特別研究員）

「生殖に関わるカイロの大衆言説に見るイスラーム、国家、セクシュアリティ」

ディスカッサント 村上 薫（アジア経済研究所）

企画セッション2（12:40-14:40）

望ましいアラビア語教科書とは：教授法の見地から

企画・司会 榮谷 温子（慶應義塾大学）

報告1 近藤 久美子（大阪大学）

「アラビア語の文法履修：国内外の教科書の事例から」

報告2 岡崎 英樹（四天王寺大学）

「外国語教授法の変遷からみた*Elementary Modern Standard Arabic*」

報告3 榮谷 温子

「第二言語の項目の習得順序やその難易」

コメンテーター 竹田 敏之（京都大学）

企画セッション3

Toward Multilayered Relations between the Gulf and Asia

Organizer: NAKAMURA Satoru (Kobe University)

Moderator: Abdullah BAABOOD (Qatar University)

1. Steven WRIGHT (Qatar University)

“The Impact of the Changing East-Asian LNG Market on Qatar’s Energy Policy”

2. NAKAMURA Satoru

“Challenges for Qatar and Japan to Build Multilayered Relations”

3. HORINUKI Koji (The Institute of Energy and Economics, Japan)

“Japan-UAE Relations: A Study on the Energy Resource Strategy and the Multi-layered
Bilateral Relationship”

Discussants: YOKOTA Takayuki (Meiji University), Abdullah BAABOOD

企画セッション4

Saudi Arabia Paths towards New Moderation and Future Measures in 2030

under the Current Political Turmoil

Chairman: Essam BUKHARY (King Abdul Aziz University)

1. Alhasan ALMANAKHRAH (Prince Khalid AL-Faisal Centre for Moderation)

“Saudi Arabia Paths towards New Moderation and Future Measures in 2030
under the Current Political Turmoil”

2. Tariq ELYAS (King Abdulaziz University)

“Examining New Media Usage in Compacting Extremism Behavior
and Attitude in Saudi Arabia”

3. Almaddah AMR (King Abdulaziz University)

“New Media Platforms as a Tool for both Promoting and Countering:
Terrorism in the Middle East”

【個人研究発表】

第1部会

9:45-10:25 CHOE Young-chol (Seoul Jangsin University, KAMES)

“Gush Emunim: It’s Definition of Land of Israel and Settlement Movement”

10:30-11:10 KIM Suwan (Hankuk University of Foreign Studies, KAMES)

“An Exploratory Study on the Development of Muslim Tourism Market in Korea”

11:15-11:55 SATO Noriko (Pukyong National University)

“Constructing Ethnic Identity among the Syriac Orthodox Christians in North-Eastern Syria
under the Syrian Civil War”

14:50-15:30 Qolamreza NASSR (Hiroshima University, J)

“Movements toward Democracy in Iran: Reciprocal Influence of Ulama and Intellectuals”

15:35-16:15 Scott MORRISON (Middlesex University)

“Islamic Banking in the Islamic Republic of Iran”

第2部会

9:00-9:40 森山 央朗 (同志社大学)

「10-12世紀におけるホラーサーン系「ハディースの徒」の理論展開と自己認識」

9:45-10:25 篠田 知暁 (日本学術振興会特別研究員)

「18世紀ファースの都市社会におけるマジュズーブ」

10:30-11:10 中町 信孝 (甲南大学)

「イブン・アイニーの生涯：武人か文人か？」

11:15-11:55 橋爪 烈 (千葉科学大学)

「ルトフィー・パシャのカリフ論：その思想的背景について」

14:50-15:30 徳永 佳晃 (東京大学・院)

「17世紀後半におけるサファヴィー朝・ムガル朝関係の転換：

カンダハール地方をめぐる両朝の係争に着目して」

15:35-16:15 朝田 郁 (京都大学)

「ハドラー移民の生きる世界：インド洋西海域を旅したアラブの軌跡」

16:20-17:00 近藤 信彰 (東京外国語大学)

「サファヴィー朝期イラン法廷制度再考」

第3部会

9:00-9:40 秋葉 淳 (千葉大学)

「ディーワーンと法廷：18世紀オスマン帝国の地方における司法行政」

9:45-10:25 岩本 佳子 (日本学術振興会特別研究員)

「参照資料としての租税台帳：

オスマン朝行政における17世紀以降の租税台帳の活用に関する考察」

10:30-11:10 佐治 奈通子 (東京大学・院)

「15-16世紀におけるオスマン朝の鉱山開発：

クラトヴァ鉱山をめぐる地域、人、組織のつながりの一考察」

11:15-11:55 永島 育 (早稲田大学・院)

「アブデュルハミト二世時代におけるオスマン語の地理叙述について」

14:50-15:30 宇野 陽子 (津田塾大学)

「トルコにおける女性参政権の導入：議会・運動・国際関係の視点から」

15:35-16:15 幸加木 文 (千葉大学)

「2016年クーデタ未遂事件が示すトルコの「イスラーム派」の変動」

16:20-17:00 今井 宏平（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

「シリア難民の定住に向けた一考察：トルコの過去の難民受け入れとの比較研究」

第4部会

9:00-9:40 縄田 浩志（秋田大学）

「黒サング製の数珠“sibhat al-yusr”の特質について」

9:45-10:25 池田 昭光（東京外国語大学）

「宗派主義的社会と相互行為：レバノンのフィールドワーク資料の例から」

10:30-11:10 佐藤 麻理絵（日本学術振興会特別研究員）

「現代ヨルダンにおけるホスト社会形成：レジティマシーをめぐる一考察」

11:15-11:55 千坂 知世（大阪大学・院）

「イラン対外政策決定過程における国会の役割：

第9期国会によるJCPOAの履行承認を事例として」

14:50-15:30 白杵 悠（一橋大学・院）

「移住がつくる国家ヨルダン：人口センサスと世帯調査から」

15:35-16:15 小島 宏（早稲田大学）

「西欧ムスリム移民二世におけるコーラン教室通学と宗教的食事制限」

第5部会

9:00-9:40 鷺見 朗子（京都ノートルダム女子大学），鷺見克典（名古屋工業大学）

「アラビア語集中講座合宿：

アラビア語学習の動機づけ向上を目指した講座の概要とその効果」

9:45-10:25 アブドーラ・アルモーメン（東海大学）

「日ア語の視点と表現の違い：発想と表現をめぐって」

10:30-11:10 竹田 敏之（京都大学）

「インターネット時代における湾岸メディアを通じた現代アラビア語の多様化と
その展望」

11:15-11:55 相樂 悠太（東京大学・院）

「イブン・アラビーによる「心が神を含む」という神聖ハディース解釈：

先行スーフイーとの比較を通じて」

14:50-15:30 大淵 久志（東京大学・院）

「ファフルッディーン・ラーズイーの天使論と倫理思想」

15:35-16:15 早川 英明（東京大学・院）

「マフディー・アーミルの思想における国家と宗派主義の関係」

16:20-17:00 桐原 翠（京都大学・院）

「ハーシム・カマーリーの現代イスラーム思想：ウンマ論とワサト主義を中心に」

第6部会

9:00-9:40 清水 学（前帝京大学）

「グローバル化・金融化のなかの中東経済」

9:45-10:25 岡室 美恵子（NPO研修・情報センター）

「ヨルダンの輸出構造分析」

10:30-11:10 安田 慎（帝京大学）

「イスラミック・ホスピタリティ論再考：

アダブ文献におけるディヤーファ・サファルをめぐって」

11:15-11:55 竹村 和朗（日本学術振興会特別研究員）

「ワクフは所有権か：古典学説と現代エジプト法制の比較検討から」

14:50-15:30 池邊 智基（京都大学・院）

「労働の教義と実践：セネガル・ムリッド教団のバイファル」

15:35-16:15 須永 恵美子（京都大学）

「『人間の経済的問題とそのイスラーム的解決策』の出版に関する一考察：

南アジアにおける近代イスラーム経済学の始まりと初期の思想」

第7部会

9:00-9:40 今野 泰三（大阪市立大学）

「「グリーンラインのイデオロギー」への批判としての「入植地問題」研究の展望」

9:45-10:25 金城 美幸（日本学術振興会特別研究員）

「パレスチナ亡命以前のムハンマド・アミン・アル＝フサイニーの軌跡：

委任統治下の「政治」と「宗教」の序列」

10:30-11:10 児玉 恵美（東京外国語大学・院）

「レバノンのパレスチナ解放運動：難民キャンプにおける動員と参加から」

11:15-11:55 山本 健介（京都大学・院）

「エルサレムと聖地ハラム・シャリーフ／神殿の丘の帰属問題：

オスロ合意以降のパレスチナ人の政治とヨルダンの関与をめぐって」

14:50-15:30 鈴木 啓之（日本学術振興会特別研究員）

「『無名』パレスチナ人の回顧録刊行：中東現代史を見る新たな資料としての考察」

15:35-16:15 池端 蒔子（京都大学・院）

「ウンマ・汎イスラーム主義・国民国家：OIC研究序論」

第8部会

9:00-9:40 店田 廣文（早稲田大学）

「在日イスラーム団体における機能付与と持続可能性：宗教法人格取得に注目して」

9:45-10:25 岡井 宏文（早稲田大学）

「在日イスラーム団体の形成と諸活動の展開：

タブリーギー・ジャマーアトと多文化的状況に注目して」

10:30-11:10 子島 進 (東洋大学)

「ボランティア活動を通して見えてくるイスラームの価値観：

比較文化論の視点から」

11:15-11:55 リーム・アハマド (カイロ大学)

「エジプト人の日本発見：ジルジャーウィーとムハンマド・アリー公の『日本旅行記』」

14:50-15:30 岡崎 弘樹 (独立研究者)

「シリアの記録映画にみる政治的、社会的矛盾の表象：

オマル・アミララーイの農村三部作を通して」

15:35-16:15 外山 健二 (山口大学)

「アメリカ文学のイスラーム：第一次報告」

(小笠原弘幸 大会実行委員会事務局長)

第5回中東研究世界大会 (Fifth World Congress for Middle Eastern Studies:

WOCMES-5) 開催のご案内

2002年マインツ (ドイツ)、2006年アンマン (ヨルダン)、2010年バルセロナ (スペイン)、2014年アンカラ (トルコ) に引き続き、2018年7月16日～20日、Three Cultures Foundation of the Mediterranean の主催によりスペインのセヴィリアで開催されることとなりました。

パネル、個人報告、ラウンドテーブル、ポスター等、参加申請の締切は2017年12月9日となっております。日本中東学会では、過去4回のWOCMESにおいて、国際交流基金の助成を受け (前回大会をのぞく)、日本の中東研究の発信と交流のため、学会としてパネルを組んでまいりました。参加をご希望の方は、まず大会申請の詳細 (<http://www.tresculturas.org/wp-content/uploads/2017/01/cfp.pdf>) をご確認ください。日本中東学会としてのパネル組織の募集等は、5月末にMLにてお知らせする予定です。

(江川ひかり 第16期国際交流担当理事)

編集後記

2期4年にわたりニューズレターの編集をさせていただきましたが、本号をもちまして担当を終えることとなりました。これまでの読者の方々のご愛顧、執筆者の方々のご協力に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

博多の九州大学での年次大会が、いよいよ迫ってまいりました。本号掲載のプログラムには興味深い講演や発表研究表が、ずらりと並んでおります。みなさまのご参加をお待ちしております。

なお、役員改選に伴う引き継ぎ作業のため、「AJAMES 編集委員会報告」、「寄贈図書」、「会員の異動」、「事務局より」は本号での掲載をお休みさせていただき、次号にてまとめてご執筆いただくことになりました。申し訳ありませんが、ご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

(松本弘 第16期ニューズレター担当)